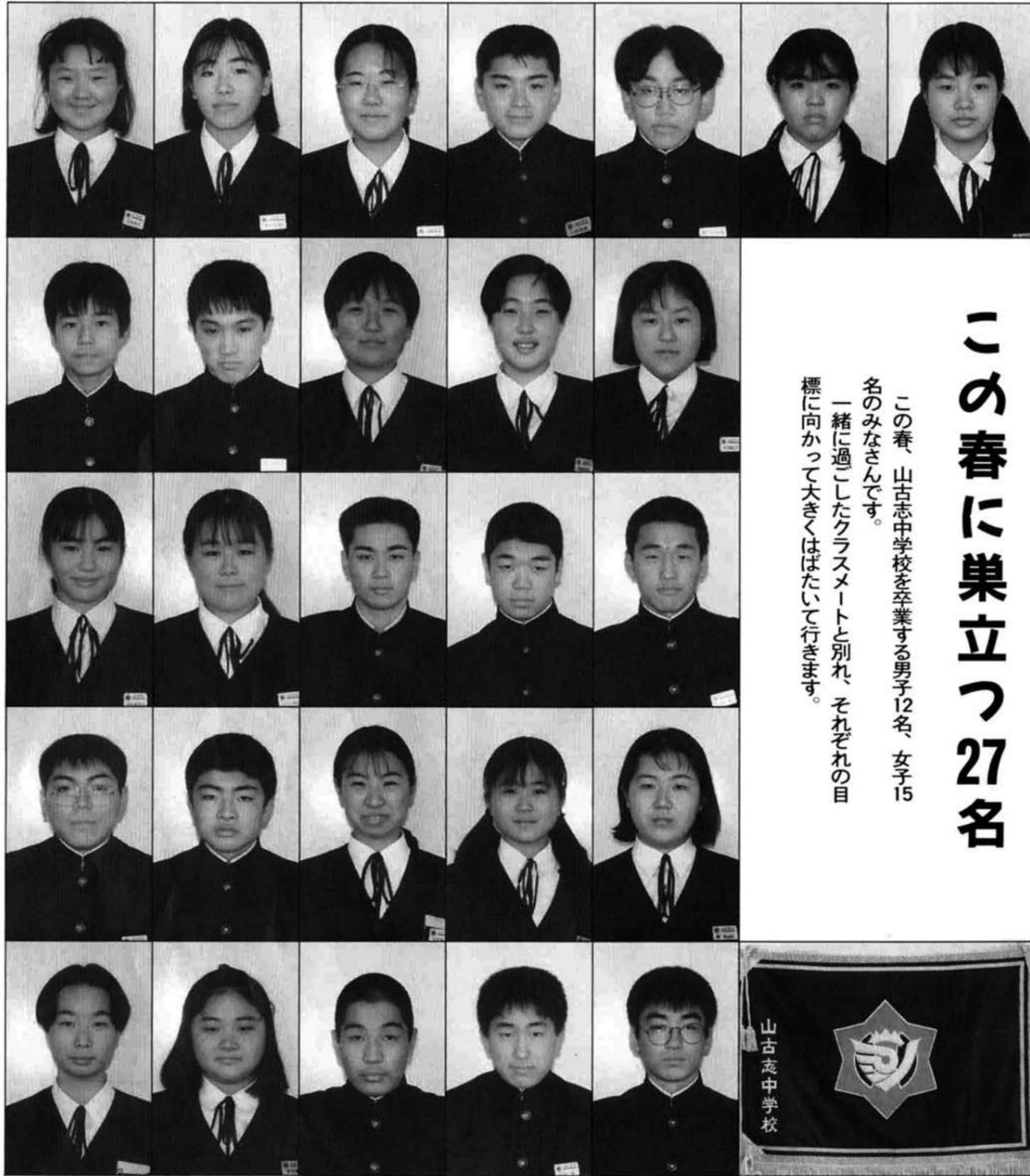


広報 やまこし

1994
3月
第308号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■3月1日発行



この春に巣立つ27名

この春、山古志中学校を卒業する男子12名、女子15名のみなさんです。
一緒に過ごしたクラスメイトと別れ、それぞれの目標に向かって大きくはばたいて行きます。



山古志中学校

人口の動き
(6.1.31現在)

■人口 2,761人(-4) 男 1,383・女 1,378 ■世帯数 773(±0)
■1月中のうごき □出生0 □死亡6 □転入2 □転出0

お知らせ

高齢者住宅 整備資金の 申込受付

平成六年度
の高齢者住宅
整備資金の申
し込みを、次のとおり受け付けま
す。



- ▽対象者—満六十歳以上の老人と同居し、老人専用居室等を造る人で、所得税が課税されない人。
- ▽貸付金額—二百一十六万四千円
- ▽返済方法—十年の元利均等償還(半年賦)
- ▽利率—年三・二%
- ▽連帯保証人—村内に住む二人
- ▽申込期限—四月末日までに
- ▽申込先—役場住民課

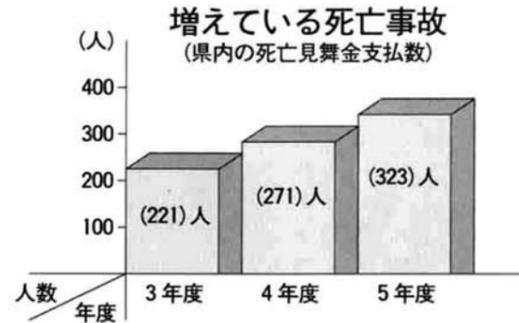
交通災害共済

加入者募集中!!

共済見舞金120万円に

家族そろって加入しましょう
お申し込みは3月31日までに

みなさんから毎年ご加入いただいている「交通災害共済」は、住民が交通事故によって死亡したりけがをしたとき、その被災者に見舞金を贈り、生活の安定と福祉の増進に役立ててもらうため、県内百十二の全市町村が共同で運営している相互扶助制度です。
掛金はわずか一人五〇〇円(年途中で加入も同額)で、見舞金は二〇万円引き上げられて、最高二〇万円となり、加入者にはたいへん有利な制度です。多数ご加入ください。



県政ポストを ご存じですか!

あなたの声を県政に!

県では、広く県民の皆様から県政についての建設的な意見やご提言をお寄せいただくために、各市町村役場の窓口「県政ポスト」を設置し、所定のはがきを用紙としてあります。村役場でも、一階窓口を設置してありますので、皆様のいろいろなご意見、ご提言をお待ちしています。



コンピュータ・カレッジ

信濃テクノ・アカデミー

生徒募集中

入学願書受付

三月二十八日(月)まで
募集定員(全日制二年)
・情報ビジネス科 五〇名
・情報システム科 五〇名

信濃川テクノ・アカデミーでは
六年度入学希望者の願書を受付
ています。

同校は、労働省所管、雇用促進
事業団委託の情報処理技術者養成
施設で、当校をはじめ圏域内市町
村及び企業・団体が構成する「新
潟情報処理開発財団」が、第三セ
クター方式で運営されています。
地域の発展を担う優秀な情報処理

※問い合わせ及び資料請求先
コンピュータ・カレッジ
信濃テクノ・アカデミー
小千谷市上ノ山四一四一
入学ガイド・ホットライン
☎〇二〇一四〇五〇七〇
(フリーダイヤル無料)
求人連絡(担当 佐藤)
☎八二一八二八二

森のシンポジウムご案内

長岡林業事業所では、異業種交流団体「フォレストフォーラム21」と共催し、一般市民の方々から森林や林産業等の重要性をご理解いただくことを目的に、下記により森のシンポジウムを開催します。

日時 3月19日(土)午後1時~4時30分
会場 ホテルニューオータニ長岡
N C ホール

◎基調講演 講演「森林と環境」
講師 信州大学教授 菅原聡氏

◎パネルディスカッション
定員 350人(入場無料)

申込方法等
長岡林業事業所(☎38-2573)へ電話によりお申し込みください。整理券が送付されます。



左から神保さん、小川さん、島田さん
小川さんは「まさか私が…。相手がいませんのでこれからさがします。」

古志高原スキーカーニバルが二月十九日に行われ、天候にも恵まれて約一、〇〇〇人が集いました。初のミスクイーンコンテストやお楽しみ抽せん会、スキーデモンストレーション（指導員、山古志中男子バレー部員）、宝さがし、花火大会、たいまつ滑降などがに

ぎやかに繰り広げられました。注目浴びた、ミスクイーンコンテストには、村内を始め近郷から二〇人が出場しました。観衆を前にして、華麗なスキーをそれぞれ披露して、特設ステージに登場。自己紹介とともに愛くるしいポーズでさらにアピールを行って会場

小川 やよいさん

初代クイーンに

盛況 古志高原スキーカーニバル

また、ユニークなお楽しみ抽せん会（売店等で五百円買上げで抽せん券一枚には、カーニバル協賛各社から多数の賞品が用意され、スキーの板三本もありました。当選番号が次々に発表されると、番号札を掲げて賞品を受け取っていました。中には一人で五本と強運の方も見受けられました。

初代のクイーンには小川やよいさん（一八歳・竹沢）が選ばれ、サイパン四日間の旅行（ペア）が副賞として贈られました。準ミスに島田由美さん（二〇歳・長岡市）、神保美和子さん（一八歳・小千谷市）が選ばれ、苗場プリンスホテルの宿泊券（ペア）がそれぞれ贈られました。



スキーが当り、ほほえむ長島奈保美さん

二回目の公式訪問はチェコ国交通省、自然保護と河川、水路交通の役割。維持管理、道路交通と国・地方・都市の体制・制度などについて話を聞く。おこなわれている高速道路（共産主義時代の取り組みから）をヨーロッパプロジェクトとして結ぶためには、ドイツとコンペで外国資本の導入に頼らなければならぬとの事であった。

十月六日五時にモーンングコール、八時二十分発の飛行機でチェコスロバキアの首都プラハへと向かう。出むかえたガイドはスラブ系チェコ人か、ハナさんと呼ぶ。若くて小柄な美人、夫は医師であるという。

山古志村長 酒井 省吾

シリーズ(二)

東ヨーロッパへの旅



聖イシュトハン大聖前（ブタペスト）

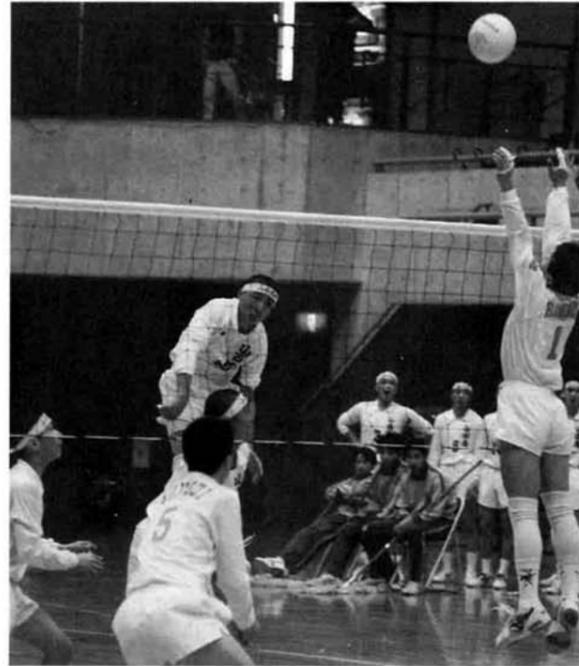
ロシア最高会議ビルに陸軍戦車部隊の砲撃の状況が生々しくテレビの映像に写し出される。軍が出動して流血の権力闘争の結末。エリッセン大統領は予定通り日本を訪問するという。チェコの国民はこの事件をどのように受け止めているのであろうか。バスの運転手は「戦争にならず終結して良かった」と語っていた。

ポヘミア王国の栄光の座を失ってから半世紀にわたる被支配民族としての屈辱を味わい、歴史の犠牲となる日々が続く今世紀に於いてもドイツ支配、そしてソ連に押しつぶされたつかの間のプラハの春。あれから二十年。一九八九年十一月、今度こそ本当の「春」を取り戻したプラハの街も人々の表情も明るく輝いていた。

中学校バレーボール選抜優勝大会 山古志中男子初優勝

悲願の県大会初V

夏への夢ふくらむ



修也くんの破壊力満点のスパイク、ブロックをはじく

第九回新潟県中学校バレーボール選抜優勝大会は二月三十日長岡市民体育館で男女の準決勝、決勝が行われました。山古志中男子バレー部（全員二年生）は三年ぶりの県大会出場です。

第一セット立ち上がりから星野修也・樺沢大輔の活躍でリードを広げ、その後もリードを保って一五対一〇でセットをものにしました。第二セットは、逆に立ち上がりから燕中にリードを奪われ、その後一方向的に押しきられ、五対

一五でセットを失った。第三セットは、両星野君のほか小川泰弘・田中友和君にもトスを廻す多彩な攻撃でリードを広げ、必死に闘いながら燕中を二五対九で下し決勝進出を決めた。ちなみに中学校バレー部が県大会決勝に進出したのは、昭和四十八年の種彦原中以来二〇年ぶりのことです。

決勝戦は分水中と対戦。くしくも昨年寺泊近郷大会の決勝の再現となりました。この時は（二二〇）で山古志中が勝っている。第一セットの立ち上がりは星野コンビの二枚ブロックが分水中のスパイクを止めると、流れにのって八対三とリードを広げ、その後も星野修也君を中心としたコンビネーション攻撃で一五対七で先勝しました。



スパイクをブロック大輔くん

第二セットは星野修也君のマークがきつくなると見たセッターの樺沢悟君は、小川泰弘・サウスポールの星野雅支君にトスを廻し、多彩なフォーメーションで立ち上がりから再び先手を取って一気に六対〇とリード。分水中も必死に追いつめるが、今度は星野修也君がバックアタック、さらに田中友和君がセンターからのスパイクなどで一四対七とマッチポイント「今日の試合で一番いいプレーができた」という星野修也君がスパイクを決め、見事にも初優勝を完勝で飾った。

この初優勝に監督の三川先生は「百点満点のぞきです。私の指示というより自分達のフォーメーションを考えて動いてくれた」と語って選手の活躍をたたえていました。また、試合後のインタビューで星野修也君は「相手の動きがよく読めた。フルスパイクでなくても相手の空いている所へ打ち込んだらヒットした。これからも勝ち続けるよう頑張ります」と全国大会出場を狙う夏への意気込みを語っていました。

なお、この活躍を称えバレー部員全員に、古志高原スキー場調理師の佐藤昭司さんから食事券が贈られました。

一年生大会

いっぽう、一年生のレベラアッブを狙った長岡市内バレーボール一年生大会が二月六日北部体育館で決まり、連続一五ポイントを奪って完封した。バレー部一〇人全員がイカグリ頭の闘志で結束し、二年生に続き優勝を果たした。また、女子は三回戦で附属中と対戦、善戦むなしくも敗れてしまいました。

など三会場で行われました。初の公式試合に山古志中の男女とも出場しました。男子は一回戦東北中、二回戦西中と対戦し、決勝トーナメントへ進出。準決勝で東中と対戦、いずれのセットも終始リードをたもった試合展開を続けて連取して決勝進出。

パワフル全開

小学校親善スキー大会

二月十八日村内小学校親善スキー大会が古志高原スキー場、竹沢小学校グラウンドで行われました。当日は絶好のコンディションとなり、豆選手たちは日ごろの練習成果を発揮し、ゴールを目指し一杯の滑りを見せてくれました。また、ゴール付近にはお父さんやお母さんたちも掛け付けてあつい視線を送っていました。成績は次のとおりです。



回転男子総合優勝の丈史くん

- 男子総合優勝 関丈史(東小)
女子総合優勝 佐藤茜(虫小)
- ①関拓馬(東小) ②星野和則(竹小) ③橘昇(種小)
④長谷川優子(種小) ⑤星野智子(竹小) ⑥酒井久美(虫小)
- ①関丈史(東小) ②川上貴志(池小) ③田中三史(虫小)
④星野寛子(竹小) ⑤星野祐美子(竹小) ⑥金内玲子(種小)
- ①五十嵐将俊(虫小) ②長島忠史(虫小) ③松井富栄(東小) ④佐藤茜(虫小) ⑤高橋亜紀(竹小) ⑥松田佳子(虫小)
- ①鈴木佑樹(東小) ②坂牧直人(種小) ③藤井茂治(東小)
④長藤鳩子(種小) 樺沢美樹(種小) ⑤平田幸子(池小)
⑥佐藤貴思(竹小) ⑦星野勝(竹小) ⑧小川尚昭(東小)
①中田麻衣子(種小) ②畔上咲子(池小) ③小川郁世(東小)
④小川正司(種小) ⑤小川隆一(種小) ⑥小川真一(種小)
⑦畔上梢(池小) ⑧坂牧祥香



圧倒的な強さを見せた種小女子A 第2走者からアンカーにタッチ

- 男子リレー
①種芋原小A ②虫亀小A
③種芋原小B
- 女子リレー
①種芋原小A ②池谷小A
③種芋原小B

オニはーそと ふくはーうち 鬼さんが豆まき

二月三日は節分です。この日村内のあちこちで春を呼ぶ「豆まき」の行事が行われました。取材におじゃました竹沢保育所でも、手づくりのお面をつけたチビ子鬼がなぜか豆まき。自分の中にいる...? いじわるの鬼や弱虫鬼などを追払い丈夫な体、なわとびの二重飛ができるように。なかには給食をもっとたくさん食べたいなどと保護さんをびっくりさせる願ひも飛びだして、楽しい豆まきが行われました。



節分も残り、暦の上ではもう春です。年長さんはもう少しで新一年生です。

第6回 四季の山古志写真コンテスト



村長賞

武石 武さん (長岡市)



天候に恵まれてラッキーでした。仲間と一緒に訪れました。ほぼ同じ位置で構えていたのですが、たまたま私が一番いい所にいたのではないかと思います。錦鯉の色(大正三色)、水面の波、さらに水しぶき、ネライどうりの作品となりました。

転作目標面積の配分と米の出荷数量

平成五年度の転作は各農家のご理解とご協力により、転作達成率が一一・八%となりました。平成六年度は昨年の作柄が著しい不良となり、今後の米需給が大変厳しいことから政府は部分的な米の輸入に踏みまりました。そうした中で山古志村の目標面積が、他用途米を含めて次のように配分されてきました。

目標面積 二五・二八ha
他用途米のうち 二八・五俵

今までもこのような配分を受けて、各農家にご協力をいただいていたましたが、山古志村は定着性の転作が多いため平成四年度から、中魚沼郡川西農協と村内の農協間で、超過面積二・二五haのうち一五ha(他用途米を含む)の地域間調整を行って効率化を図ってきました。

本年も引き続き四七ha前後の転作が見込まれるため、超過面積のうち二〇haの地域間調整を行う予定です。農家への転作配分は後日区長さんを通じて行いますが、昨年同様のご協力をよろしくお願ひします。また、新規に転作を行う人はその旨、区長さんに申し出て



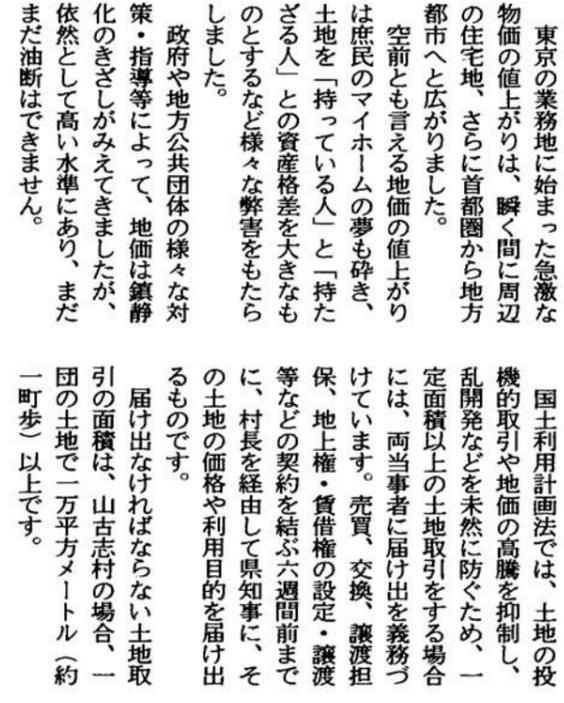
ください。
助成金額(二〇a当り) 二七、〇〇〇円
養魚水田 (一年限り) 二七、〇〇〇円
果樹 (四年間) 二七、〇〇〇円
ソバ・大豆 二二、〇〇〇円
野菜・レンコン 四、〇〇〇円
平成五年度の米の出荷数量 (六年一月末現在)
山古志村農協
うち 三、一七一俵
うち 一〇六・五俵
長岡市農協太田支所
うち 五八四俵

米の出荷数量については前年と比較し、冷害による天候等の影響で一、九四〇俵と大幅な減少となりました。本年は天候にも恵まれ、昨年の分も取り戻すような豊作になることを期待しております。

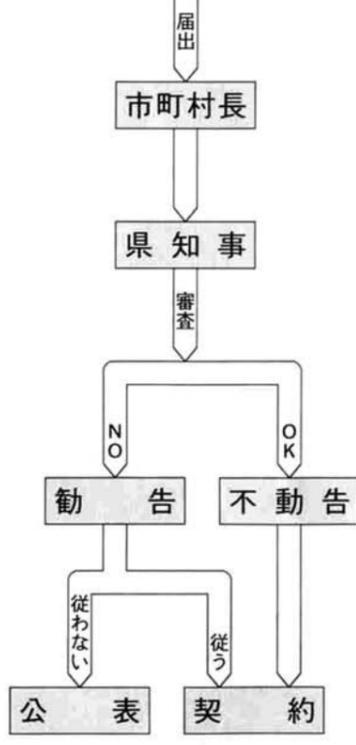
土地取引の届出制度

東京の業務地に始まった急激な物価の値上がりは、瞬く間に周辺の住宅地、さらに首都圏から地方都市へと広がりました。空前とも言える地価の値上がりは庶民のマイホームの夢も砕き、土地を「持っている人」と「持たざる人」との資産格差を大きなものとするなど様々な弊害をもたらしました。政府や地方公共団体の様々な対策・指導等によって、地価は鎮静化のきざしがみえてきましたが、依然として高い水準にあり、まだまだ油断はできません。

国土利用計画法では、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し、乱開発などを未然に防ぐため、一定面積以上の土地取引をする場合には、両当事者に届け出を義務づけています。売買、交換、譲渡担保、地上権・賃借権の設定・譲渡等などの契約を結ぶ六週間前までに、村長を経由して県知事に、その土地の価格や利用目的を届け出るものです。



届出を受けた県知事は、内容を審査し、もし適正でない点があると、取引の中止や価格の引き下げを勧告することがあります。なお、詳しいことは役場総務課へお問い合わせください。
立木や建物の予定価格
一定面積以上の土地の取引とあわせて立木や建物の予定価格についても届出書に記載することになっています。
届出後の価格又は利用目的の変更
届け出後に譲受人、価格又は利用目的を変更し売買などの取引をする場合は再度事前に届け出が必要となります。



春香ちゃん わが家の

平成4年2月4日生まれ 星野義高・艶子さん(長女) ー竹沢ー



ハロー・ミス春香です。今月で2才になりました。私はアメリカで生まれ、6ヶ月目で竹沢にきました。今は日本語で何でも話します。ちなみに英語で、ワシ、チューとテンまで数えます。本と歌とお絵描きとアイリーに行くのが大好きです。



健康コラム

地域の健康づくりに頑張った保推さん

今年三月で保健推進員の任期が終了します。地域で健康づくりを推進するために結成されましたが、この二年間の活動はいかだったでしょうか。

私から見れば、これだけの活動ができれば充分という気持ちです。保推さんの中にも初めて動き初めた頃と現在とは考え方や気持ちかなり変化している人も多そうです。周りから見れば保推さんは通知書の配布などの仕事が大変そうにみえます。しかし保推さんをしていて、今更には大変だと思いません。そんな新しい体験ができるのも保推さんなのかもしれません。今回、冬から春にかけて四回の健康づくり勉強会を開催しました。テーマは次のとおりです。

今月の担当は 内藤保健婦です。

④身近な薬草についてです。今更にはあまりこのような勉強会を地域ですることがなかった。保推さんからは好評で参加してよかったという声が聞かれています。

保推さんは区長の推薦を受けてなりますが、もしあなたも区長さんに推薦されましたらぜひ保推さんになってみませんか。新しい体験ができるかもしれませんよ。私事ですがこの三月をもって役場を退職することになりました。保健婦として動きがとれず随分みなさんにご迷惑をおかけしたと思います。みなさんのおかげで四年間楽しく過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。

国民年金は

世代と世代の助け合い



来月から 保険料額が変わります。

国が運営する国民年金制度は、毎年、前年の物価上昇に見合った年金額の引上げを行っています。今年も四月から年金額が引き上げられます。これに伴い、国民年金の保険料も月額一、一〇〇円に改定されます。

国民年金は、あなたの納めた保険料が今の年金受給者を支え、やがてあなたも次の世代に支えられる相互扶助のもとに成り立っています。ですから、年金給付と保険料のバランスを保つために、保険料も少しづつ引き上げていかなければなりません。

ればなりません。皆さんのご理解をお願いします。

春は異動の季節です 手続きを忘れずに

三月・四月は就職や退職、転勤など、異動の多い時期です。異動によって国民年金の加入の種類が変わったり、住所を変更したときは、国民年金の手続きが必要。手続きを忘れてしまうと、将来、不利になることがありますので、速やかに市町村役場に届け出るようにしましょう。

事業所統計調査にご協力を

この事業所名簿整備調査は、事業所の新設や廃業、事業の種類や従業者数などの異動状況を簡易な方法で調査して事業所の異動状況を明らかにするとともに、事業所を対象とした各種統計調査の基礎資料として利用されます。調査は、四月二十日現在で行います。

調査の対象は、農林漁家を除くすべての民営の事業所です。調査の方法は、県知事から任命された調査員が、四月上旬から訪問します。その際はご協力をお願いします。

生涯学習コーナー No.25

生涯学習

現代的課題について

現代的課題とは

今日のわが国の社会は、科学技術の高度化、情報化、国際化、高齢化等の進展により、急激な変化を遂げつつある。このことが人間の生き方、価値観、行動様式を変化させ、これまでの生き方、価値観、行動様式が、時代の要請するものとそぐわなくなっている。このようなことから、地球環境の保全、国際理解等の世界的な課題をはじめ、高齢化社会への対応、男女共同参画型社会の形成等、我々が社会生活を営む上で、理解し、体得しておくことが望まれる課題が増大している。ここで言う現代的課題とは、このような社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために、人々が学習する必要がある課題である。

主な現代的課題

現時点における具体的な現代的課題は、次のようなものがあげられる。生命、健康、人権、豊かな人間性、家庭・家族、消費者問題、地域の連携、まちづくり、交通問題、

新潟県教育日報の 新規購読予約受付中

県教育委員会では、教育に関する総合広報紙「新潟県教育日報」を発行しています。これは、A5版、70ページの日刊紙で、当面する教育課題、県の教育施策(学校教育、生涯学習、文化、スポーツ等)、教育現場でのものです。ただ今、平成6年度の新規年間購読の予約を受け付けておりますので、お申し込みください。
◎申込方法 官製はがきに送付先住所、氏名、送付部数を記入し送付する。
◎申込先 〒950 新潟市新光町4-1 県教育庁総務課企画広報係
◎購読料 年間4,680円(郵送料、税金含む) 詳しくは、県教育庁総務課企画広報係へ。(電話025-285-5511 内線3804)

雪に強く

快適な住まいづくりに 44万円を補助

村では本年も「克雪住宅普及促進事業補助金」の交付を行います。この事業は、雪下ろしに伴う住民の負担、危険等の軽減を図りあわせて冬の居住環境の改善に寄与することを目的に昨年からスタートしたものです。今年克雪住宅の新築や改良をされる方、又は計画されている方は役場総務課にご相談ください。なお、昨年は十四件の利用があり、克雪住宅づくりに一役担っています。

補助対象者



自然落雪式



高床落雪式

次の要件のいずれにも該当する人です。

▼山古志村に住所を有する人、または建築後その住宅に居住する見込みの人

▼村税等を完納している人

補助対象工事費及び補助金

克雪住宅の新築または改良で、融雪式、落雪式、耐雪式、この三方式のいずれか、または組み合わせで建築される住宅で、交付対象工事費は二五〇万円を限度とします。補助金の額は、対象工事費に〇・一七六を乗じて得た額とし、四四万円を限度とします。

申込み方法

希望者は、工事費見積書や図面等を添えて早めに申し込みください。